

令和6年度 特色ある道德教育推進校

県立富里高等学校

研究主題

人間としての在り方生き方を主体的に探究する生徒の育成

取組1 「道德」を学ぶ時間の指導の工夫

工夫1 5種の事例から学ぶ道德

本校では以前から、学年主任・1学年副担任・道德教育推進教諭が各クラスを回って道德の授業を行っており、今年度は5名の教員で道德の授業を実施した。生徒にとっては、5種の事例を通して各教員の多様な道德観について学ぶことができ、それぞれ授業の根拠について考えることができるところがメリットと思われる。

- ・みんなで考える情報モラルとコミュニケーション
- ・一人ひとりが自分らしい人生を送るために
- ・スマホの使い方を考えよう
- ・情けは人の為ならず ～エルトウール号の恩返し
- ・正義に味方は悪者を叩いても良いの？



工夫2 千葉県道德教材映像教材（DVD）の活用

I C T機器を活用し、映像教材の視聴を4回行い、いくつかの場面について考えたことや視聴した感想をワークシートに記入させた。

- 第1回 守りたいもの
- 第2回 支える人になりたい
- 第3回 夢にかける橋
- 第4回 青春のホイール



工夫3 外部講師を招聘しての研修会

愛国学園大学学長、大和田良幸先生をお招きし、「かけがいのない自分」をテーマに講演をいただいた。

講演の骨子

- ・多くのことを、経験を通じて主体的に学ぶ。
- ・組織の中で活躍するためには、コミュニケーション能力を鍛える。
- ・正しい情報を選び、それを使いこなす能力が必要である。
- ・健康に関心を持ち続け、人生100年の中で友実させる。



取組2 学校教育全体を通じた道徳教育の充実

令和6年度 道徳教育の全体計画		
学年	道徳教育の全体計画	道徳教育の全体計画
1	1. 道徳教育の重要性を認識し、道徳教育の充実を図る。 2. 道徳教育の推進を図る。 3. 道徳教育の推進を図る。 4. 道徳教育の推進を図る。 5. 道徳教育の推進を図る。	1. 道徳教育の重要性を認識し、道徳教育の充実を図る。 2. 道徳教育の推進を図る。 3. 道徳教育の推進を図る。 4. 道徳教育の推進を図る。 5. 道徳教育の推進を図る。
2	1. 道徳教育の重要性を認識し、道徳教育の充実を図る。 2. 道徳教育の推進を図る。 3. 道徳教育の推進を図る。 4. 道徳教育の推進を図る。 5. 道徳教育の推進を図る。	1. 道徳教育の重要性を認識し、道徳教育の充実を図る。 2. 道徳教育の推進を図る。 3. 道徳教育の推進を図る。 4. 道徳教育の推進を図る。 5. 道徳教育の推進を図る。
3	1. 道徳教育の重要性を認識し、道徳教育の充実を図る。 2. 道徳教育の推進を図る。 3. 道徳教育の推進を図る。 4. 道徳教育の推進を図る。 5. 道徳教育の推進を図る。	1. 道徳教育の重要性を認識し、道徳教育の充実を図る。 2. 道徳教育の推進を図る。 3. 道徳教育の推進を図る。 4. 道徳教育の推進を図る。 5. 道徳教育の推進を図る。
4	1. 道徳教育の重要性を認識し、道徳教育の充実を図る。 2. 道徳教育の推進を図る。 3. 道徳教育の推進を図る。 4. 道徳教育の推進を図る。 5. 道徳教育の推進を図る。	1. 道徳教育の重要性を認識し、道徳教育の充実を図る。 2. 道徳教育の推進を図る。 3. 道徳教育の推進を図る。 4. 道徳教育の推進を図る。 5. 道徳教育の推進を図る。
5	1. 道徳教育の重要性を認識し、道徳教育の充実を図る。 2. 道徳教育の推進を図る。 3. 道徳教育の推進を図る。 4. 道徳教育の推進を図る。 5. 道徳教育の推進を図る。	1. 道徳教育の重要性を認識し、道徳教育の充実を図る。 2. 道徳教育の推進を図る。 3. 道徳教育の推進を図る。 4. 道徳教育の推進を図る。 5. 道徳教育の推進を図る。

令和6年度 「道徳」を学ぶ時間 年間指導計画表		
学年	道徳教育の全体計画	道徳教育の全体計画
1	1. 道徳教育の重要性を認識し、道徳教育の充実を図る。 2. 道徳教育の推進を図る。 3. 道徳教育の推進を図る。 4. 道徳教育の推進を図る。 5. 道徳教育の推進を図る。	1. 道徳教育の重要性を認識し、道徳教育の充実を図る。 2. 道徳教育の推進を図る。 3. 道徳教育の推進を図る。 4. 道徳教育の推進を図る。 5. 道徳教育の推進を図る。
2	1. 道徳教育の重要性を認識し、道徳教育の充実を図る。 2. 道徳教育の推進を図る。 3. 道徳教育の推進を図る。 4. 道徳教育の推進を図る。 5. 道徳教育の推進を図る。	1. 道徳教育の重要性を認識し、道徳教育の充実を図る。 2. 道徳教育の推進を図る。 3. 道徳教育の推進を図る。 4. 道徳教育の推進を図る。 5. 道徳教育の推進を図る。
3	1. 道徳教育の重要性を認識し、道徳教育の充実を図る。 2. 道徳教育の推進を図る。 3. 道徳教育の推進を図る。 4. 道徳教育の推進を図る。 5. 道徳教育の推進を図る。	1. 道徳教育の重要性を認識し、道徳教育の充実を図る。 2. 道徳教育の推進を図る。 3. 道徳教育の推進を図る。 4. 道徳教育の推進を図る。 5. 道徳教育の推進を図る。
4	1. 道徳教育の重要性を認識し、道徳教育の充実を図る。 2. 道徳教育の推進を図る。 3. 道徳教育の推進を図る。 4. 道徳教育の推進を図る。 5. 道徳教育の推進を図る。	1. 道徳教育の重要性を認識し、道徳教育の充実を図る。 2. 道徳教育の推進を図る。 3. 道徳教育の推進を図る。 4. 道徳教育の推進を図る。 5. 道徳教育の推進を図る。
5	1. 道徳教育の重要性を認識し、道徳教育の充実を図る。 2. 道徳教育の推進を図る。 3. 道徳教育の推進を図る。 4. 道徳教育の推進を図る。 5. 道徳教育の推進を図る。	1. 道徳教育の重要性を認識し、道徳教育の充実を図る。 2. 道徳教育の推進を図る。 3. 道徳教育の推進を図る。 4. 道徳教育の推進を図る。 5. 道徳教育の推進を図る。

情報モラル教室

生徒に起こりえるインターネット上のトラブルについて再確認し、情報モラルの向上とトラブル防止に向けた意識づけを行う。

地域貢献（地域清掃）

地域への感謝の気持ちと地域を知ることを目的に、年2回の通学路清掃を実施している。（今年度は雨天のため1回の実施。）



主な成果（○）と課題（●）

- 生徒にとっては、副担任の道徳の時間を通じて5つの異なったテーマについて道徳を学べることで、教員の多様な価値観に触れることで、それぞれのテーマについて考えることができた。
- 学年の教員がお互いに協力し合って、ホームルーム活動を中心に「道徳を学ぶ時間」の研究に取り組むことができた。
- 小・中学校で行われている道徳教育の指導内容を高校の教員が理解するとともに、高校生の発達段階に応じた教材どのように開発していけばよいのかが最も大きな課題である。

授業実践事例

千葉県立富里高等学校 1 年 D 組 「道徳」を学ぶ時間指導案

令和 6 年 1 1 月 2 5 日（月）

1 主題名 情けは人の為ならず ～エルトゥール号の恩返し～

2 ねらいと教材

社会生活（高校生活）を送るうえで、他人（友人）と幸福で楽しい毎日を送るためにどのように考え行動することが望ましいかを考えるきっかけにする。

教材 「一日一言」（新渡戸稲造著 財団法人新渡戸基金）

3 主題設定の理由

（1）ねらいや指導内容についての教師の捉え方

他人と良好な関係を築こうとして行動したことが、かえって友人関係を悪化させることに繋がることもあるため、その原因はどこにあるのかを探り、どう対処すればそのようなことがなくなるのかを考えることで解決できるのではと考え、本主題を設定した。

（2）生徒のこれまでの学習状況や実態と教師の願い

本学級の生徒は、落ち着いて学習には取り組んでいるが、自ら進んで人前で意見を発表することにどちらかというと消極的な生徒が多いため、少人数のグループで意見交換をさせることで、発言し易い環境を作りその内容を自分の言葉でまとめさせたいと考えた。

（3）使用する教材やそれを生かす具体的な活用方法

本授業の主題でもある「情けは人の為ならず」の例として、「エルトゥール号遭難事件」を視聴させ、友人同士の関係だけではなく国同士の関係においても同じ人間として尊重し助け合うことが、他国と良好な関係を気付くことに繋がり、巡り巡って自分にも良い報いが返ってくることを考えさせたい。

4 展開

過程	学習活動と主な発問（○）	予想される反応	指導上の留意点 評価
導入 （7）	・「道徳」を学ぶ意義と、本授業のテーマ（「情けは人の為ならず」）を確認する。		・本授業のテーマを生徒にはっきり伝える。
展開 （35）	「情けは人の為ならず」とはどういう意味か。 ○人に親切にしたことは何か。 ○それはどんな時か。 ○その時の気持ちはどうであったか。	○人に道を教えた。荷物を運んだ。 ○困っていたから。 ○うれしい、良い気持ち。何とも思わない。	・人に親切にしたことと、その時の気持ちを発表させる。

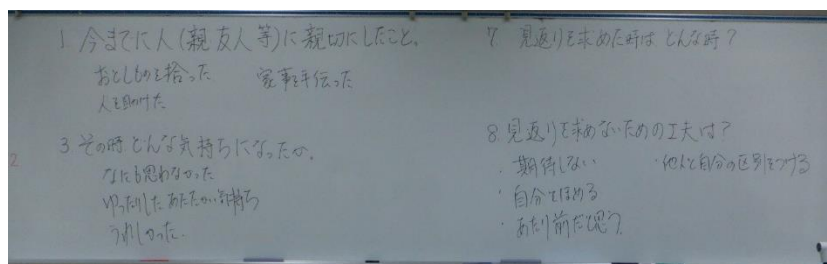
	「エルトゥールル号遭難事件」の映像を視聴し、感じたことを話し合おう。		
	・ 一日一言に書かれた内容と、その解釈を紹介し、見返りを求めることの是非を考える。 ○ 見返りを求めるときはどのようなときだろうか。 ○ 見返りを求めないようにするにはどうしたらよいか。	○ 利害関係が生じるとき。求めたことはない。 ○ 誰かの役に立ちたいと素直に思う。相手に期待しない。	・ 見返りを求めることの是非を隣同士で話合わせる。
終末 (8)	・ 今日の学習について振り返り、感想をまとめる。		・ 人と良好な関係を築くためにどのような考え方をすればよいかを考えせる。

(5) 他の教育活動との関連

楽しく充実した高校生活を送るために、学級活動・係活動・委員会活動・授業など高校生活全てにおいて、良好な人間関係を構築するためにはどうしたら良いかを考えることが必要である。

5 授業の様子

(1) 板書



生徒のパソコンと画面を共有しスライドを使用し説明を行った。また、教卓のスクリーンに映像を投影するとともに、ホワイトボードには、生徒の発表内容を記した。

(2) 生徒の様子

「エルトゥールル号遭難事件」を知らない生徒が多かったためなのか、映像をとっても興味・関心を持って真剣に見ており、その内容を通して「情けは人の為ならず」の意味を理解できたようだ。また、こちらからの発問に対して、自分の考えを簡潔にまとめて発表してくれた。



- ・ 親切とは何か、誰のためにするのかといういつもは考えないことをしっかり考えることができた。自分の成長のために誰かを助けたいと思った。(生徒の感想)
- ・ 見返りを求めないということは、人によっては難しいと思うが、自分に合う考え方で人に親切にすれば、見返りを求めることはないと思った。(生徒の感想)